



漁業集落排水処理施設
門前地区

事業の概要

本事業は、平成20年度に策定した漁業集落環境整備事業の基本計画に基づき、平成21年度の事業採択と同時に基本・実施計画を行いました。

施設の整備は、管路施設が平成22年度、処理施設が平成23年からそれぞれ実施し平成24年3月に完成しております。また、施設の供用は、平成24年4月1日からとなっております。

| | |
|----------|---|
| 事業名 | 漁業集落排水事業（門前地区） |
| 事業年度 | 平成20年度～平成24年度 |
| 処理対象人口 | 470人（うち観光人口320人） |
| 処理方式 | 担体流動ろ過循環方式 |
| 日平均計画汚水量 | 127m ³ /日 |
| 計画処理水質 | BOD 20mg/ℓ S S 50mg/ℓ |
| 全体事業費 | 337,900千円 （うち処理施設127,000千円） |
| 施設概要 | <ul style="list-style-type: none"> ●処理施設 <ul style="list-style-type: none"> 管理棟 鉄筋コンクリート平屋建 建築面積 39.60m² 敷地面積 523.63m² 処理場面積 341.57m² ●管路施設（分流式） <ul style="list-style-type: none"> 管路延長 1,533.90m マンホールポンプ 1基 |



漁業集落排水事業

漁業集落排水処理施設

門前地区





ごあいさつ

門前地区の周辺海域は、古くから沿岸の採貝、採藻、刺し網漁の好漁場として地域住民の生活と深くかかわってきました。

門前地区漁業集落排水事業は、漁港及び周辺水域の水質保全、快適で住みよい生活環境の創出、さらにはナマハゲ伝説の由来とされる赤神社五社堂に続く999段の石段やゴジラ岩などの観光地の環境保全に努めたいとの熱意から、平成20年度に着手したものであります。

この排水処理施設は、担体流動ろ過循環方式で計画処理人口470人（うち観光人口320人）の家庭及び観光施設のし尿と雑排水を処理する施設であり、門前地区の漁業及び観光産業はもとより地域の発展に寄与してくれることを念願するものであります。

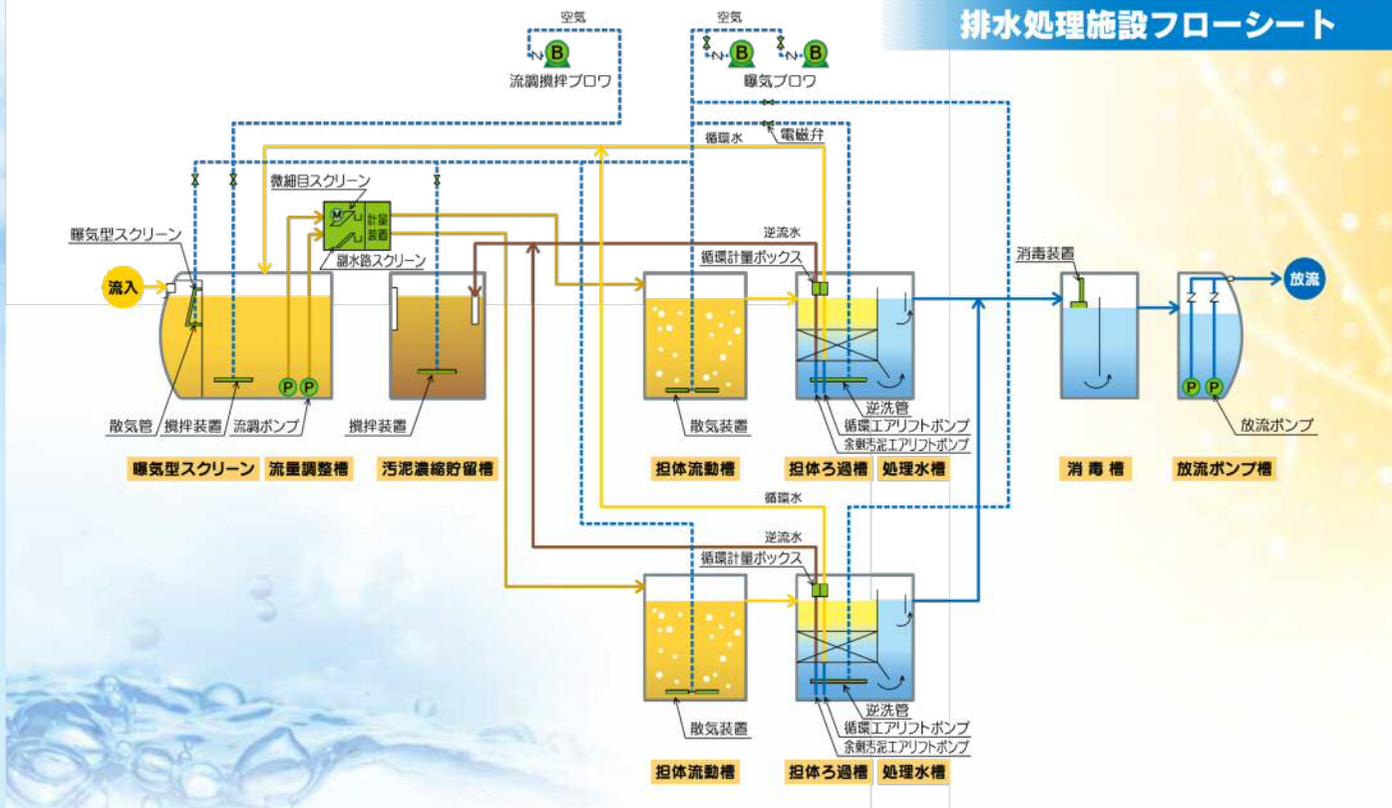
最後に、本事業の実施にあたり、地域住民の積極的なご協力に対し感謝申し上げますとともに、国、県並びに関係各位のご理解ご指導に対して心からお礼申し上げます。

平成25年3月

男鹿市長 渡部 幸男



排水処理施設フローシート



| 名称と機能の説明 | |
|------------------|--|
| 曝気型スクリーン | 汚水中の汚物等（固形物）を除去します。 |
| 流量調整槽 | 汚水を一時貯留し、流量及び水質の変動を平準化するとともに担体流動槽への汚水の移送を連続的に行います。 |
| 計量装置 微細目スクリーン | 微細な夾雑物を除去します。 |
| 汚泥濃縮貯留槽 | 余剰汚泥を濃縮し、搬出までの期間貯留します。 |
| 担体流動槽 | 担体に付着した活性汚泥をばっ気、攪拌することで流入汚水中のBOD成分を生物分解させます。 |
| 担体ろ過槽 | 処理水の汚泥をろ過し、固液分離を行い清澄な処理水を得ます。 |
| 消毒槽 | 処理水を塩素と均一に接触させ衛生上支障のない放流水とします。 |
| 放流ポンプ槽 | 処理水を施設外へ放流します。 |
| ブ ロ ク ワ | 生物処理や、エアリフトポンプ等に必要空気を送る装置です。 |



▲ 浄化槽操作盤



▲ ブロワ



▲ 自家発電機